

平成29年度 古文書講座のご案内

古文書は地域の歴史の記録であり、豊かな文化的遺産です。佐賀県立図書館では、県民の皆さんに佐賀に残る古文書を読み解き活用していただくため、古文書講座を開催します。今年度は、講座形式の「初級編」・「中級編」・「応用編」と、これまでに講座を受講された方を対象とする勉強会形式の「実践編」を実施します。

※会場はすべて佐賀県立図書館

□初級編 (定員 60名)

5月開講 申込期間：4月10日(月)～4月14日(金)

古文書を読みたいけれども、何から始めればいいのかわからないという方は意外と多いのではないのでしょうか。初級編は、そんな初めて古文書にふれる方のために行う、基礎から学べる講座です。

講師 佐賀県立図書館職員

日程 5/13・5/20・5/27・6/3・6/10・6/17・6/24・7/1・7/8・7/15・7/22・8/5・8/19・8/26
9/2・9/9・9/16・9/23 (全18回)

時間 10時～11時30分 (開場：9時30分)

□中級編 (定員 60名)

10月開講 申込期間：9月4日(月)～9月8日(金)

古文書を解読するには、文字や文法を学ぶだけではなく「古文書に慣れる」ことが必要になります。中級編では、初級編で学んだ基礎的な知識を用いながら、古文書をゆっくり丁寧に解読していきます。

講師 佐賀県立図書館職員

日程 10/7・10/14・10/21・10/28・11/4・11/18・11/25・12/2・12/9・12/16・12/23・1/13
1/20・1/27・2/3・2/10・2/17・2/24 (全18回)

時間 10時～11時30分 (開場：9時30分)

□応用編 (各コース定員 60名)

5月開講 申込期間：4月10日(月)～4月14日(金)

古文書に書かれている内容を理解するためには、古文書の作成された時代背景などについても知る必要があります。応用編では2人の先生をお招きし、古文書の解読とともに佐賀県の歴史や文化について学びます。

・コース1「古文書にみる鍋島直正の改革」

鍋島直正は、藩政改革により佐賀藩を雄藩に押し上げた名君です。本講座では天保10年の「請御意」を読みながら、直正が行った改革の内容について学んでいきます。

講師 伊藤昭弘先生 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター准教授)

日程 6/3・7/1・8/5・9/2・10/7・11/4・12/2・2/3 (全8回)

時間 13時30分～15時 (開場：13時)

・コース2「佐賀の諸本・諸書を探訪するⅡ」

本講座では、江戸時代に書かれた佐賀に関する色々な書籍や記録・作品類 (主に鍋島家文庫) を一緒に学んでいきます。

講師 大園隆二郎先生 (公益財団法人鍋島報効会評議員)

日程 5/13・6/10・7/8・9/9・10/14・12/9・1/13・2/10 (全8回)

時間 13時30分～15時 (開場：13時)

□実践編 のご紹介 (5月～2月、10回×2コース、定員各15名)

当館の古文書講座において50単位以上を取得し「単位認定」を受けられた方を対象に、講師の指導を受けながら自分たちで古文書のテキストを解読していく、実践的な勉強会形式の講座を実施します。

講師：片倉日龍雄先生 (幕末佐賀研究会会員)・永松亨先生 (佐賀郷土史料研究会代表) ※参加者は別途募集します